

とがった放射状の葉の中央から枝を伸ばし、白く大きな釣鐘状の花をたくさんつける迫力のある姿。これは「キミガヨラン (君が代蘭)」という植物です。もともと北米南部からメキシコにかけての海岸に多い植物で、明治時代に輸入されたそうです。洋風の庭園などに好まれ、一部は野生化したものもあるようです。先住民はこの花を食用にしていたそうですから驚きです。



犬吠埼の崖下にも、キミガヨランの群落があります。もともとは人為的に植えられたものなのでしょうが、現在は野生化しているように見えます。ハマヒルガオ同様、この花も灯台と一緒に撮りたいと思いました。しかしこれも構図を決めるのが結構難しく、やっと撮れたのがこの一枚です。

2025年5月下旬
千葉県銚子市犬吠埼